



小山田 剛 士
(黎明親和会)

今年度の秋まつりの概要は

三本木大通りと官庁街通りで 山車運行

問 秋まつりの在り方について市の考えは。

答 地域や商店街のにぎわいの創出、地域内や世代間の交流が行える貴重な場であるとともに、祭りが培ってきた文化の継承など市民・地域のための市最大のイベントで、今年度はコロナによる制限のない開催が可能となり、市民の皆さんは久々の本格運行を楽しみにしているものと考えています。

参加人数の減少など時代による新たな課題もありますが、参加者と協力しながら、山車の制作やおはやしの練習などに子供から大人まで地域一丸となって取り組んでいただき、観覧される方も含めて市民全員が楽しめる祭りを目指していきたいと考えています。

問 今年度の開催概要は。

答 関係者の声を受けてコロナ前の開催方法に戻す方向で、期間は9月第2週の金曜日から3日間とし、山車の運行ルートは金曜日、日曜日が三本木大通りでの合同運行、土曜日は官庁街通りでの夜間運行を予定しています。運行の詳細は関係団体と調整を行っているところです。

問 三本木大通りで運行する際のメリット、デメリットは。

答 メリットとして、市全体、特に中心商店街のにぎわいを取り戻す機運醸成が図れることが考えられます。デメリットは、交通規制が広範囲であること、それに伴う交通渋滞対策や警備体制の強化、スタッフの増員が必要なことです。

問 デメリットに対して、どのように解決、対応していくのか。

答 交通規制の範囲については警察署や交通事業者との協議連携を図り対応します。警備体制の確保については、今年度は市職員による対応も検討しているところです。



中 嶋 秀 一
(自民公明クラブ)

防犯灯や街路灯などの
LED化に向けた計画は

施設の新規設置や 修繕に合わせ更新

問 市内に設置の防犯灯や街路灯、市営住宅でLED化されていないところはあるか。

答 防犯灯と街路灯の約9,300基のうち、約1,700基、全体の約18%、市営住宅では廊下や階段などの共用部分に設置される照明器具320台のうち、278台、全体の約87%がLED化されていません。

問 今後の交換計画は。

答 施設の新規設置や修繕に合わせ、LED灯に更新していきます。

問 全国で利用者が増えているRVパーク*を観光施設に整備や認定する考えはないか。

答 防犯対策や維持管理、ほかの施設の利用状況など、様々な視点から検討を行う必要があると考えています。

*日本RV協会が快適に安心して車中泊ができる場所を提供するために定めた条件を満たす車中泊施設

問 子供施策で定評のある兵庫県明石市では様々な取組を実施している。市は人口減少を抑えるための対策をどのように考えているか。

答 明石市をはじめ他自治体の取組も参考にしながら、長期的、総合的な視点から有効な施策、事業を迅速に実施することで魅力あふれるまちを創出していきたいと考えています。

問 若者を呼び込むための環境づくりとして雇用の創出のほか、複合大型施設が必要であると考えるが、誘致する考えは。

答 複合大型施設の当市への進出は、あくまでも民間事業者の企業戦略の上の判断となることや、市内既存店舗との競合の観点からも、市で誘致を進めることは難しいものと考えています。